

## 公立大学法人神戸市看護大学の業務実績に関する評価（様式イメージ）

網掛け部分は法人記入欄

1. 全体評価

(記述による評価)

2. 項目別評価（大項目評価）

第2 社会的ニーズに対応した幅広く高い能力を持つ、看護人材の育成のための取組み

評価委員会評価 評価 <u>A</u>	(評価理由)
法人自己評価 評価 <u>A</u>	(評価理由)

第3 学術研究、地域貢献活動、国際交流の推進等による、大学ブランドの確立

(以下、同様)

3. 項目別評価（小項目評価）

法人自己評価

第2 社会的ニーズに対応した幅広く高い能力を持つ、看護人材の育成のための取組み

網掛けは法人記入欄

法人評価					評価委員会評価
中期計画	年度計画	実施状況	評価	評価理由	
<p><b>1 入学者選抜及び学部教育</b></p> <p>(1) 優秀な学生の確保</p> <p>①アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）に沿った選抜試験を実施する。</p> <p>②卒業後の市内就職に向けた地域の高校からの受け入れ促進や、他の分野での経験を有する社会人、海外からの留学生等多様な人材の受入れなど、入学者の受入れ・選抜方法を国公立などの他大学の動向や市内就職の推移にも留意しながら、継続的に見直していく。</p> <p>③本学が期待する入学者像を明確化するとともに、受験者層のニーズや社会一般の看護への関心を把握しながら、オープンキャンパスの実施や、ホームページの充実、地域の高等学校との連携等による受験生、保護者、進学指導者への積極的な広報活動を展開する。</p> <p>④入試データの蓄積・分析及び学生募集に関する広報活動を行う体制を強化する。</p>	<p><b>1 入学者選抜及び学部教育</b></p> <p>(1) 優秀な学生の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学、卒業時の諸データを蓄積・整理する。</li> <li>・定員、入学試験科目、入試制度等の2023年度入試以降のあり方を検討する。</li> <li>・編入学試験制度の検討を行う。</li> <li>・オープンキャンパス実施、大規模受験相談会等への参加を進めるほか地域の高等学校等との情報交換を行う。</li> </ul> <p><b>【数値目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料参加など3回程度</li> <li>・地域の高等学校等との情報交換を年2回実施。</li> <li>・入試関連情報を遅滞なく受験生に届くようにホームページに掲載する。</li> <li>・試験問題、出題の意図の公開を検討する。</li> <li>・蓄積したデータを活用した効果的な広報のあり方を検討する。</li> </ul>		A		評価 A
					特記事項
<p>(2) 教育方法・内容</p> <p>①疾病構造や社会構造の変化に対応し、身体的のみならず精神的・社会的な意味を含めた健康の保持に資する科学的な思考や、看護人材として必要な倫理観や対人関係能力を育成するための教育を実施する。</p> <p>②広い視野と豊かな感性を育むとともに、人文科学や社会科学も含む幅広い分野の知見を結集・活用し、グローバルに活躍できる人材を育成するため、他大学との連携を含めた教養教育の充実を図るとともに、専門教育と教養教育の科目間および教員間の連携を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p>(2) 教育方法・内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度開講の新設科目（看護技術入門、基礎看護学実習Ⅰ、看護過程、フィジカルアセスメント、多職種連携Ⅰ等）について適切に実践・評価し、次年度に活かす。</li> <li>・「社会人基礎力の強化」をテーマに研修を行う。</li> <li>・教養・専門教育、分野・領域間相互に教育内容の連携を強化し、連動性を検討しながらカリキュラムや到達目標を確認・整理する。</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>		A		評価 A
					特記事項

特記事項	
------	--

第3 学術研究、地域貢献活動、国際交流の推進等による、大学ブランドの確立

(以下、同様)